



— 学びの情熱尽きることなく —

VI
正課外活動編

正課外活動編

1. 受講生委員会活動

受講生として単に授業を受けるだけに留まらず、学内で行われる各行事の企画・運営を担う委員会に参加して、コミュニティ活動の意義を認識し、受講生同士の交流を深めることが期待されます。

春学期ゼミナール開始時期に、下記の各委員会を担う委員を各ゼミから、自薦・他薦により1名選出します。受講生は、事情の許す限り、これらの委員会に参加して、諸活動の一端を担ってください。

各行事の委員会委員の概要

委員会名	委員	活動概要
本科ゼミ長委員会	本科ゼミ長 本科副ゼミ長	ゼミ長には、ゼミ内及びゼミ間の意見の調整と取りまとめ、「ゼミ長委員会」への出席が期待されます。副ゼミ長には、ゼミ長の補佐と代理をお願いします。
専攻科ゼミ長委員会	専攻科ゼミ長 専攻科副ゼミ長	ゼミ長には、ゼミ内及びゼミ間の意見の調整と取りまとめ、「ゼミ長委員会」への出席が期待されます。副ゼミ長には、ゼミ長の補佐と代理をお願いします。
ニューズレター委員会 (春学期第21号) (秋学期第22号)	本科ニューズレター委員 専攻科ニューズレター 委員経験者(任意)	受講生の学びとキャンパスライフの生きた記録として、また、最大の広報媒体としてのニューズレターの企画・編集・発行を担います。本科で「ニューズレター委員会」の経験のある専攻科生は、アドバイザーとしての参加をお願いします。
本科 清里ゼミ合同合宿委員会	本科ゼミ長 本科副ゼミ長	ゼミの課外活動の一環であり、RSSC最大のイベントである清里合同ゼミ合宿の本科日程の企画・運営を担います。副ゼミ長には補佐をお願いします。
専攻科 清里ゼミ合同合宿委員会	専攻科ゼミ長 専攻科副ゼミ長	ゼミの課外活動の一環であり、RSSC最大のイベントである清里合同ゼミ合宿の専攻科日程の企画・運営を担います。副ゼミ長には補佐をお願いします。
ウエルカムパーティ 委員会	専攻科 ウエルカムパーティ委員	専攻科生が本科生新入歓迎会の企画・運営を行います。
納涼パーティ委員会	本科 納涼パーティ委員会	本科生が春学期修了を機に納涼パーティの企画・運営を担います。
クリスマスパーティ 委員会	本科クリスマスパーティ 委員	本科生が中心となり、キリスト教に基づく立教建学の精神によって、クリスマスパーティの企画・運営を担います。
修了パーティ委員会	本科・専攻科副ゼミ長	修了パーティの企画・運営を担います。

2. 社会貢献活動サポートセンター

「社会貢献活動サポートセンター」は、受講生・修了生の社会との交流を通じて社会貢献に資する研究・演習・実践を支援するために、立教セカンドステージ大学が設立した組織体です。その目的に沿って自発的に組成されたグループの活動について、6カ月間の活動状況の審査に基づきサポートセンターへの登録を認め、大学施設の利用、運営支援等が行われます。

現在多種多様な14研究会（会員総数380名）が積極的に活動しており、修了後もグループ研究の継続に止まらず、個人でも地域の社会貢献活動に参加、或いは自らNPO法人を設立する等、修了生全体約1000名の過半数が活躍中です。

*ラウンジ書架の「RSSC社会貢献活動の軌跡」（2017/11編集）をご参照ください。

2018年3月31日現在

研究グループ名（登録年月）	活動概要（トピックス等）
アジアの貧困と NPO/NGO 支援研究会 (2009/5)	アジア諸国の貧困の実情について調査・研究し、対外活動やバングラディッシュ等の現地訪問を実施する。NPO/NGO の活動にも参加する。
かがやきライフ研究会 (2009/11)	修了生中心に自らデザインしていく生き方を広く多くの人々に知ってもらい、“かがやけるライフ”を送るための小冊子を毎年1冊発行する。
ウクレレ合唱団『鈴懸』 (2010/1)	「介護と看取り」の授業に刺激されウクレレ合唱団を創設。初心者を集め月2回練習して、高齢者施設等に訪問演奏会を定期的に開催する。
日本に住む外国人を考える会 (2010/2)	日本に居住している外国人の歴史・文化・生活の実情を知り、共に生きていくために何が求められ、どのような行動が必要なのかを調査研究する。
生きがい創造研究会 (2011/11)	RSSC で出会った縁をつむぎ、会員相互に生きがい研究、社会参加等の発表を行う他、外部諸組織との研究交流も行う。
アクティブシニア研究会 (2012/12)	個別テーマによるグループ活動を推進中で、特に、在学中から取り組んだ東日本大震災支援のNPO法人「コットンドリームいわき」を設立運営。
コミュニティ活動研究会 (2013/2)	各種社会貢献活動団体とのコラボレーションを図り、社会貢献活動の実践やセミナーの企画等を行うことで、『再チャレンジ』をサポートする。
ブラチナ社会創造研究会 (2015/3)	三菱総研とのコラボレーションを中心に、「まちづくり」の調査研究と支援、定年退職前シニアの「丸の内大学」への参加等。
経済・社会問題研究会 (2015/4)	身近な経済と社会問題を分かり易く本質的に研究し、外部団体とのコラボレーションを通じて、外部発信と協働活動を推進する。
キリマンジャロの会 (2015/4)	2016年1月にアフリカのタンザニアに設立された「さくら女子中学校」の特に日本サイドの資金調達等、各種支援活動を継続実施する。
オリンピック・パラリンピック・レガシー研究会 (2015/10)	障がい者スポーツイベントの応援、学内でのイベントの企画と全学ムーブメントの展開、コミュニティへのパラリンピックのPRを展開する。
R S A C アカデミック・コミュニティ (2015/10)	地域自治体と連携し小学生補修支援、シニアサロン連携、シニア大学との連携、海外留学支援、地域活性化支援等、多彩な活動を展開する。
ソーシャルビジネス研究会 (2016/9)	RSSC で学習・経験した内容を糧として、社会的課題をビジネス手法で解決する活動を通じ、実際のビジネスプランを作成し起業を目指す。
21世紀アクティブシニア社会共生研究会 (2017/6)	授業「修了生が語るアクティブシニアの生き方」の講義録（16/秋学期）、「RSSC社会貢献活動の軌跡」の小冊子（17/11編集）作製等。

3. 清里本科・専攻科ゼミ合同合宿

このゼミ合同合宿は、立教セカンドステージ大学創立の2008年度から現在まで続いている、毎年度の最大のビッグイベントです。雄大な八ヶ岳山麓の清里高原にある「清泉寮」で、本科生は2泊3日、専攻科生は1泊2日の楽しく有意義なゼミの課外活動として位置づけられている合宿です。

合宿の企画・運営はゼミ長が受講生を代表して自主的・主体的に行うこととなりますが、過去の具体的な活動例は、ゼミ担当教員による興味ある講義、戦前戦後の立教大学の教授で清里実験農場開拓の祖であるポール・ラッシュ博士の苦難に満ちた歴史の探訪、聖アンデレ教会における講話、生物学教授の早朝自然観察会等、盛りだくさんの学びのスケジュールがあります。更には、学生時代に戻った気分キャンプファイアーとフォークダンスを楽しみ、都会では見られない満天の星座観測等があります。参加者が一堂に会して食前の祈りをささげて、自然の作物による美味しい食事の魅力です。

何よりの醍醐味は、キャンパスでのゼミや授業で知り合った受講生との懇親が一層深化すると共に、その枠組みを越えた多くの学友たちとの語らいです。これからの人生にとって極めて得難い生涯の友を作る貴重な場でもあります。

本科生・専攻科生ともこのゼミの課外活動の趣旨を理解され、素晴らしいゼミ合同合宿に事情の許す限り参加されることをお願いします。ゼミ担当教員も大勢参加します。

4. 2月～3月の課外活動

秋学期の正規授業は例年度1月下旬に最終授業となりますが、2月～3月の期間中も受講生の学習意欲に応え、また、自主的・主体的な企画・運営により、次のような多彩な課外活動が予定されますので参加してください。尚、修了論文発表会は各ゼミナールから推薦された発表者が登壇しますので、事情の許す限り参加をお願いします。

主な課外活動例

時期	日程	課外活動名	主催	参加	申し込み
2月上旬	日帰り	不忍池自然観察会	担当教員	任意	個人
2月～3月	1泊2日・日帰り	秩父サテライトセミナー	研究会①	任意	ゼミ
3月上旬	2日～3日	修了論文発表会	大学	任意	ゼミ
2月～3月	適宜	各ゼミナール旅行	各ゼミ	任意	ゼミ
2月～3月	適宜	サポートセンター活動	研究会②	任意	個人

(注)①「プラチナ社会創造研究会」 ②サポートセンター登録 14 研究会 いずれも 97 ページ参照

5. 同窓会（参考）

立教セカンドステージ大学の受講生と修了生が、任意団体として同窓会を設立し、会員相互の交流と親睦を図り大学へ寄与することを旨として、現在は第1期生から10期生までの約900名が加入し、加入率は平均90%を超えています。具体的な活動例は、年次総会の開催、各期生の会員による懇親会、11の同好会による趣味・娯楽・研究活動、大学と協調した講演会の開催等を積極的に展開しています。

第11期生にも入会勧誘が行われますので、詳しくは「立教セカンドステージ大学同窓会」のホームページをご覧ください。全国の各種のコミュニカレッジ、大学講座、生涯学習等には同窓会はほとんどなく、立教セカンドステージ大学らしい存在です。